

2023年5月期 第1四半期決算補足資料

I. 決算概要

- ◆ 2023年5月期は、コロナ禍で抑制していた各事業への投資を再度積極化し、今後の更なる利益成長に向けてのターニングポイントとなる1年と位置付け。国内ブックオフ事業においては、安定収益の土台をより強固なものとするためのアプリ会員基盤最大化と戦略的なIT・マーケティング投資を継続し、「BOOKOFF SUPER BAZAAR」の出店再開、エンタメ型「BOOKOFF」の出店・リプレイス。成長期待分野であるプレミアムサービス事業、海外事業においても、それぞれで拠点数を増やし、今後の成長に向けた礎を作る。
- ◆ 国内ブックオフ事業の直営既存店において、トレーディングカード・ホビーをはじめ、アパレル、ソフトメディアなどの売上高が前年同期を上回ったほか、「ひとつのBOOKOFF」構想における公式スマホアプリ会員数は550万人まで伸長した。プレミアムサービス事業における「hugall」、「BOOKOFF総合買取窓口」などは、売上高が前年同期を上回り好調に推移した。海外事業においては、「Jalan Jalan Japan」が前年ロックダウンの反動もあり売上高が大きく伸長したほか、アメリカ合衆国内の「BOOKOFF」も好調に推移し、売上高が前年同期を上回った。
- ◆ 上記の結果、第1四半期連結累計実績は、売上高が前年同期比112.0%と大きく伸長し、営業利益、経常利益はいずれも前年同期を上回った。また、グループ再編に伴う税負担の軽減も寄与し、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期を大幅に上回った。
- ◆ 第1四半期連結損益は前年同期を上回って推移したものの、資源価格高騰による物価上昇、人件費、水道光熱費等の影響が流動的であることから、通期業績予想は2022年7月11日公表数値を据え置き。

II. 連結損益

【第1四半期 連結累計期間】 単位:百万円

科目	2023/5期1Q	構成比	2022/5期1Q	構成比	前期差	前期比
売上高	23,726	-	21,183	-	+2,542	112.0%
売上総利益	13,738	57.9%	12,762	60.2%	+975	107.6%
販売費及び一般管理費	13,186	55.6%	12,617	59.6%	+569	104.5%
営業利益	551	2.3%	145	0.7%	+405	379.1%
営業外収益	163	0.7%	265	1.3%	△ 102	61.4%
営業外費用	51	0.2%	122	0.6%	△ 71	41.8%
経常利益	663	2.8%	288	1.4%	+374	229.7%
特別利益	-	0.0%	68	0.3%	△ 68	0.0%
特別損失	92	0.4%	33	0.2%	+58	276.4%
税金等調整前四半期純利益	570	2.4%	323	1.5%	+247	176.6%
法人税等	△ 109	-0.5%	104	0.5%	△ 213	-104.8%
非支配株主に帰属する四半期純利益(損失)	29	0.1%	△ 12	-0.1%	+42	-227.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	651	2.7%	231	1.1%	+419	280.9%

III. 業績予想

●通期連結累計 単位:百万円

科目	2023/5期予想	構成比	2022/5期実績	構成比	前期差	前期比
売上高	95,000	-	91,538	-	+3,461	103.8%
営業利益	1,950	2.1%	1,766	1.9%	+183	110.4%
経常利益	2,300	2.4%	2,307	2.5%	△ 7	99.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,450	1.5%	1,449	1.6%	+0	100.1%

- ・ 2023年5月期は、コロナ禍において抑制していた各事業における新規出店を再び積極化。国内ブックオフ事業においてはBOOKOFF SUPER BAZAARの出店を再開するほか、BOOKOFFのエンタメ化パッケージへのリプレイスを実施する一方、既存店リニューアルも引き続き積極展開するとともに、安定収益継続のための大規模なIT投資も並行して継続。プレミアムサービス事業や海外事業においても積極出店を行う。
- ・ 通期業績は、国内ブックオフ事業におけるIT投資によるコスト負担はピークとなるものの、プレミアムサービス事業、海外事業の利益成長により営業増益。2022年5月期に受給した時短営業協力金(営業外収益)の剥落により、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はほぼ2022年5月期並みの見通し。期末配当金は、1株当たり20円を予定。
- ・ 第1四半期連結損益は前年同期を上回って推移したものの、資源価格高騰による物価上昇、人件費、水道光熱費等の影響が流動的であることから、通期業績予想は2022年7月11日公表数値を据え置き。

IV. 国内ブックオフ事業 既存店実績

●四半期別前期比

	1Q	2Q	上期	3Q	3Q累計	4Q	通期
国内直営店 既存店	売上高	109.3%					
	売上客数	103.5%					
	仕入高	111.0%					
	仕入客数	102.8%					

●商材別売上高・仕入高実績

商材名	売上高※				仕入高			
	1Q期間		累計		1Q期間		累計	
	前期比	構成比	前期比	構成比	前期比	構成比	前期比	構成比
書籍	94.8%	27.3%	94.8%	27.3%	95.7%	17.3%	95.7%	17.3%
ソフトメディア(音楽・映像・ゲーム)	104.0%	25.9%	104.0%	25.9%	92.1%	28.2%	92.1%	28.2%
アパレル	117.6%	9.7%	117.6%	9.7%	135.5%	8.1%	135.5%	8.1%
貴金属・時計・ブランドバッグ	111.8%	8.8%	111.8%	8.8%	119.9%	15.5%	119.9%	15.5%
トレーディングカード・ホビー	142.9%	15.9%	142.9%	15.9%	141.9%	20.6%	141.9%	20.6%
家電・携帯電話	118.0%	4.8%	118.0%	4.8%	139.9%	5.5%	139.9%	5.5%
スポーツ・アウトドア用品	107.4%	3.2%	107.4%	3.2%	118.8%	3.6%	118.8%	3.6%
その他	124.7%	4.4%	124.7%	4.4%	121.8%	1.2%	121.8%	1.2%

※ 店頭商品のEC販売による売上高、EC商品の店舗受取サービスによる売上高を含む実績

V. 「ひとつのBOOKOFF」構想の進捗

注3

●公式スマホアプリ会員数推移

	1Q末	2Q末	3Q末	4Q末
会員数推移	550万人			

●BOOKOFF Online経由チェーン売上高

単位:百万円

	1Q	2Q	上期	3Q	3Q累計	4Q	通期
BOOKOFF Online経由	売上高	2,177					
チェーン売上高※	前期比	100.0%					

※ ECサイト「BOOKOFF Online」上での注文に対する、ECセンターからの配送による販売実績、直営店・FC加盟店からの配送による販売実績、直営店・FC加盟店での店舗受取サービスによる販売実績の合計

VI. 店舗数推移、新規出店、リニューアル

●店舗数推移

営業月	2022年							2023年				
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
直営店	国内	393	391	392								
	海外※	17	17	17								
FC加盟店	国内	377	377	377								
	海外	4	4	4								
全店合計	791	789	790	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※海外子会社の決算期が連結決算期と異なるため、当連結会計期間での店舗数となります。

●新規出店

区分	地域	店舗名	店舗パッケージ	OPEN	所在地	売場面積
直営	海外	Tampoi店	Jalan Jalan Japan	4月1日※	マレーシア	482坪
	国内	イオンモール和歌山店	あそびバ	8月2日	和歌山県和歌山市	38坪
	国内	春日部豊春店	BOOKOFF	8月4日	埼玉県春日部市	201坪
	国内	鈴鹿ハンター店	BOOKOFF	8月6日	三重県鈴鹿市	256坪
	国内	春日白山通り店	BOOKOFF総合買取窓口	8月20日	東京都文京区	10坪
FC	国内	千葉イオンマリニピア専門店	BOOKOFF	8月19日	千葉県千葉市	89坪

※海外子会社の決算期が連結決算期と異なるため、当連結会計期間の新規出店扱いとなります。

●直営店リニューアル実施店舗数

	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
2023年5月期	6店				6店